

嘉納治五郎 (講道館)柔道を創始して世界に出、アジア初のIOC委員・日本体育協会の創設など、スポーツ振興に貢献。

かのうじごろう

桜田門外変・1860 = 摂津御影町の酒造家に見込まれて養子になった近江の神官の子嘉納治郎作の三男として生まれる。

父は結局、相続を辞退し、運輸業に携わり、各地を飛び回って、殆ど家には居なかった。

しつけには厳しいが、暖かい心の持ち主の母に、大事に育てられていたが、

明治維新・1868 = 8歳 :

戊辰戦争終・1869 = 9歳 : 母が没し、

初の日刊新聞1870 = 10歳 : 東京にいた父に迎えられて上京。
書道や英語の教育を受ける。

明治6年政変 1873 = 13歳 : 育英義塾に入り、寄宿舎で生活。いじめに会ったことから、柔術を学ぼうとするが、時代が機会を奪う。

角栄金脈辞任1974 = 14歳 : 東京外国語学校に入学、英語部が独立して官立英語学校になり、そこで学ぶ。

初の民間工場1875 = 15歳 : 卒業して、官立開成学校に入学。

西南戦争・1877 = 17歳 : 開成学校が東京帝国大学となり、文学部に編入。必死になって維新後整骨医になっていた柔術家を捜し求め、やっと紹介された**福田八之助(天神真楊流)**に入門、初めて柔術を学ぶ。

大久保暗殺・1878 = 18歳 :

琉球処分・1879 = 19歳 : 来日したアメリカのグラント将軍に柔術を見せる。福田が死去、代わって指導した後、磯正智に入門。

・1880 = 20歳 : 当時主流であった戸塚一門が大学講堂で柔術を見せた時、飛び入りで参加、その実力を示した。

明治14年政変 1881 = 21歳 : 東大を卒業、選科に進む。磯が死去し、飯久保恒年について起倒流の柔術を学ぶ。

新体詩抄・1882 = 22歳 : 学習院英語教師となるかわら、*下谷稲荷町の永昌寺の書院を借り、塾を開いて講道館と名付け、塾生に柔術を教え始めた。あわせて、嘉納塾で子どもたちの指導、弘文館で英語の教授を始めた。選科を卒業。

岩倉具視没・1883 = 23歳 : 飯久保恒年より起倒流の免許をうけ、伝書一切を譲受ける。品川子爵の後援で講道館を麹町の邸に移す。

内閣発足・1885 = 25歳 : 学習院教授となる。

帝国大学始・1886 = 26歳 : 九段富士見町に道場を建設、柔術諸流派の技術を統合して体育的に再編成した流儀を完成、講道館柔道の名のりをあげた。警視庁武道大会などで門人が活躍し始める。

国民之友始・1887 = 27歳 :

帝国憲法発布 1889 = 29歳 : 文部省からヨーロッパ教育事情視察に派遣され、刺激を受ける(ピラミッドを簡単に登攀した逸話も)。

足尾鉾毒始・1891 = 31歳 : 帰国して結婚。第五高等学校校長となり、ラフカディオ・ハーンなど人材を招くとともに、

地域に親しみ、また尊敬されるが、

郡司千島探検 1893 = 33歳 : 文部省検定課長となり、帰京。*文部省参事官と同時に、第一高等学校校長、東京高等師範学校校長代理まで兼ねることになった。小石川に百畳じきの講道館を新築。

日清戦争始・1894 = 34歳 :

白馬会・1896 = 36歳 : 清国の留学生を大量に受け入れ、教育。

八幡製鉄始・1897 = 37歳 : *東京高等師範学校校長に就任。この頃から、講道館出身者が海外で柔道の実演を始める。

とくに体育を奨励し、体育科を新設して体育教師の養成に努めた。

また、正式な大学への昇格を求めて、先頭に立って運動。

教科書疑獄・1902 = 42歳 : 清国に視察旅行。

日露戦争終・1905 = 45歳 :

伊藤博文暗殺 1909 = 49歳 : IOC会長クーベルタンに請われて、アジアで最初のIOC委員に就任。

韓国併合・1910 = 50歳 : 青年のための修養書「青年修養訓」を著す。

大逆事件判決 1911 = 51歳 : *大日本体育協会を設立して、初代会長。

明治天皇没・1912 = 52歳 : 三島弥彦(東大)、金栗四三(東京高師)の両選手を選抜して、みずから団長となり、オリンピック初参加(ストックホルム)を実現した。この時は、国民の支持もなく、成績もみじめなものであったが、

第一次大戦始 1914 = 54歳 :

第一次大戦終 1918 = 58歳 :

大暴落・1920 = 60歳 : 東京高等師範学校校長を退任。アントワープ大会ではテニスで2個の銀メダル。

原敬首相暗殺 1921 = 61歳 : 大日本体育協会会長も退いて、名誉会長になる。

関東大震災・1923 = 63歳 :

護憲三派圧勝 1924 = 64歳 : パリ大会では、日本人選手がかなり活躍、

共産党事件・1928 = 68歳 : アムステルダム大会で三段跳びの織田、平泳ぎの鶴田と、初の金メダル。

満州事変・1931 = 71歳 :

五一五事件・1932 = 72歳 : ロサンゼルス大会では、競泳6種目中5つに優勝するなど、華々しい成果をあげるまでに漕ぎ着けた。

帝人疑獄事件 1934 = 74歳 : 水道橋新館に講道館が移る。

二二六事件・1936 = 76歳 : カイロで開催のIOC総会に出席して、東京オリンピックの招致に成功、

日中戦争始・1937 = 77歳 :

健保+総動員 1938 = 78歳 : *その帰途、氷川丸船中で肺炎のため急逝した。
のち東京大会は時局により中止となる。

ぎょうせい「世界の伝記」、「日本史重要人物101」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、加来耕三「創始者の研究」、「目でみる日本人物百科」、山田風太郎「人間臨終図巻」、